

八葉山 天台寺 だより 第3号

天台寺本堂・仁王門保存修理工事現況報告

本堂・仁王門の解体工事がほぼ終了になり、今後は修繕・新材加工工事に進んでいきます。当初は本堂・仁王門とも半解体の予定でしたが、解体が進むに連れ柱・材木の腐朽が明らかになり、仁王門は全解体、本堂の柱も6本取り外し修理をすることになりました。以下、工事進捗状況を写真にて報告いたします。

今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。



造り付けの厨子は階段部分を外し、ブルーシートで保護



本堂をジャッキで持ち上げ、井桁状に組んだ材木で地上から1.2m程の高さに固定



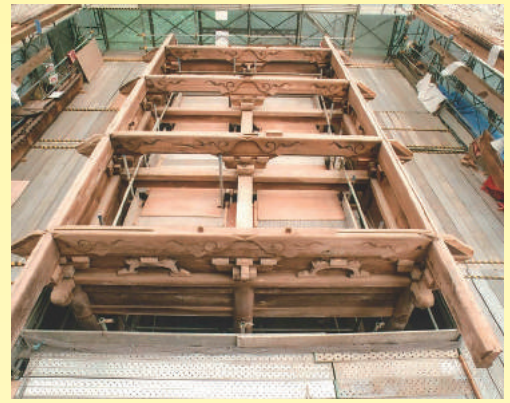
本堂を浮かせている間に、礎石の据え直しや発掘調査を行った



再び地上に下ろし、解体作業を再開



柱も特に傷んでいた6本を補修のため取り外した



仁王門の解体作業



解体されて更地となった仁王門



こちらでも発掘調査を実施



本堂も仁王門も材木が著しく傷んでいた

<写真提供>公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

天台寺保存修理事業へのご寄進を随時受け付けておりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

<寄進方法>

郵便振替(ゆうちょ銀行)口座 02230-1-106184 天台寺本堂等修復事業推進委員会
〒028-6942 岩手県二戸市浄法寺町御山久保33 八葉山 天台寺(TEL・FAX:0195-38-2500)

(題字「天台寺」は、南北朝時代・正平18年(1363)に奉納された銅鰐口の銘で、現存資料中寺名が記された最も古いものです。)